

# 速



# 北陸中日新聞

# 報

# 興南が春夏連覇

東海大相模	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1
興南	0	0	0	7	1	5	0	0	X		13

# 猛打で東海大相模下す

第九十二回全国高校野球選手権大会は二十一日、兵庫県西宮市の甲子園球場で満員となる四万七千人の大観衆を集めて決勝を行い、今春の選抜大会を制した興南（沖縄）が13―1で東海大相模（神奈川）に勝って初優勝し、春夏連覇を達成した。沖縄県勢としても夏の大会初制覇。春夏連覇は一九九八年に松坂大輔投手（現レッドソックス）を擁した横浜（神奈川）以来、史上六校目。

興南は四回、打者十一人の猛攻で7点を先行。以降も打線が活発で、計19安打で13点を奪った。島袋洋奨投手も1失点で完投した。東海大相模は四十年ぶり二度目の優勝は果たせなかった。